

——社会的課題の解決を目指した知的情報処理小特集（英文論文誌 D）論文募集——

社会的課題の解決を目指した知的情報処理小特集論文募集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2023 年 4 月号において、社会的課題の解決を目指した知的情報処理小特集（Special Section on Intelligent Information Processing to Solve Social Issues）を掲載致します。本小特集は、タイトルに関連する分野の幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集します。

端末、センサー、モバイル機器等の普及と人工知能・知識処理技術の進展により、それらから入力・収集された情報やビッグデータから、人々の知識や知恵を発見し、活用できることが可能となりつつある。そのような状況のもと、我々の日常生活、社会制度、教育等の組織やグループの活動に潜んだ社会的な課題を顕在化し、創造的／協調的に解決に導くための革新的なシステムや方法論を開発することが望まれている。そのためには情報科学や言語科学、知識科学といった様々な科学の高度な連携と融合が不可欠であると同時に、如何に適切なモデルや革新的システムをデザインし構築することが必要であるとともに、高速かつ高精度といった現実的課題に適用可能であるかが重要となる。

この様な科学技術分野の融合・統合を前提とした最新の知的情報通信分野は知識科学、サービス科学、ロボット工学、人工知能、ハプティクス技術、センサーネットワーク、バーチャルリアリティなど新分野、新技術が次々と産み出され、更なる融合・統合が加速化しているといえる。それと同時に、扱えるデータが飛躍的に巨大化しその質も大きく変化する中、従来技術も大きな変革が迫られてきている。このような認識のもと、多分野、多技術を融合・統合しつつ大規模かつ複雑な諸課題を解決し、人間の協力・調和、或いは創造的能力をさらに高めるための理論的・技術的な取り組みの理論と応用に関する研究小特集（2023 年 4 月号）を企画する。

1. 対象分野

知的情報通信技術とその創造活動支援への応用に関する以下の分野を対象とします。

- ・大規模データ処理及び機械学習
- ・知識科学・知識工学・知識表現
- ・集合知及び創造的知性
- ・社会課題を解決するシビックテック
- ・オンライン会議システム
- ・知識／技術経営支援システム
- ・サービス／イノベーション経営支援システム
- ・ロボット工学・メカトロニクス・ハプティクス技術
- ・センサーネットワーク・知的無線システム
- ・画像処理・CG・バーチャルリアリティ
- ・エージェントシミュレーション
- ・知的インフラストラクチャ制御
- ・データ可視化及びインタフェースデザイン
- ・発想支援システム及び意思決定システム
- ・人間言語技術及び自然言語処理
- ・オントロジー及びセマンティック・ウェブ
- ・知的 ICT システムに関する評価
- ・その他、関連する人工知能・計算知能

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては、“The Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御一読の上、本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/index-e.html>) にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は、PAPER で 8 ページ、LETTER で 2 ページとなります（LETTER は最大 4 ページまで）。
- ・本会のウェブサイト (https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から、投稿原稿 PDF 及びソースファイルの登録をし、著作権譲渡手続きをお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受付できません。御投稿の際は、投稿フォームの“Journal/Section”の項目にて、“[Special-II] Intelligent Information Processing to Solve Social Issues”をお選び下さい。
- ・問合せ先：

山下倫央（北海道大学大学院情報科学研究科）

E-mail : tomohisa <at> ist.hokudai.ac.jp

・原稿提出の締切りは日本時間 2022年3月9日（水） 23：59（厳守）です。

3. その他注意事項

- ・招待論文を含むすべての著者は、論文が採録になった場合、2022年12月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2023年1月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しになります。
- ・論文が採録となった場合、掲載料をお支払い頂くこととなります。
- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は、通常の60日より短縮される場合があります。

4. 小特集編集委員会

編集委員長 伊藤孝行（京大）、Thanaruk Theeramunkong（SIIT, Thammasat University）、國藤 進（JAIST）
編集副委員長 橋本喜代太（Prince of Songkla University）、羽山徹彩（長岡技科大）、山下倫央（北大）、
編集委員 蟻坂竜太（京大）、Vijay Kumar Banga（Amritsar Group of Colleges）、Rafik Hadfi（京大）、林 秀彦（北星学園大）、Natsuda Kaothanthong（SIIT, Thammasat University）、加藤昇平（名工大）、川路崇博（久留米大）、Nongnuch Ketui（Rajamangala University of Technology Lanna）、松尾徳朗（産業技術大学院大学）、Sanparith Marukatat（NECTEC）、三浦元喜（千葉工大）、Hung Duy Nguyen（SIIT, Thammasat University, Thailand）、奥原 俊（京大）、大塚孝信（名工大）、白松 俊（名工大）、Virach Sornlertlamvanich（SIIT, Thammasat University）、Thepchai Supnithi（NECTEC）、Nattapong Tongtep（Prince of Songkla University）、Sasiporn Usanavasin（SIIT, Thammasat University）、Thaweesak Yingthawornsuk（King Mongkut's University of Technology Thonburi）、横山想一郎（北大）、由井蘭隆也（JAIST）

お問合せ等は編集幹事まで、電子メールにてお願い致します。（件名に「IEICE（II2022）」とお書き下さい。）

- * オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors”（https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御参照下さい・オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。